



今年の干支を描いた大きな絵馬が、川越八幡宮(南通町)に飾られています。大きさは、畳二枚分ほど。制作したのは、小学校、高校の児童・生徒たち。昨年の夏ごろから制作を始めた力作です。中央小学校の作品は、水色の背景にピンク色の桜の花がちりばめられ、真ん中にかわいらしいトラが、にっこり笑っています。しっぽには、日の丸の扇子を掲げ、応援しているように見えます。川越第一中学校の作品は、富士山を背景に、月夜の竹林を歩く勇猛そうなトラが描かれています。山村学園



高校の作品は、川越八幡宮を背景に、まるで本物のような二匹のトラが精巧に描かれています。散歩に寄った親子連れは、大きな絵馬を見上げてびっくり。これらの絵馬は十二月まで飾られています。

どんぐり

編集後記

1月9日に行われた星空観察の集い。夕方、30人ほどの親子連れなどが、こどもの城に集合。冬の星座解説やプラネタリウム鑑賞後、屋上へ向かいました。雲が無く、観察には絶好の天気。子供たちは、大きな望遠鏡をワクワクした様子でのぞき込みます。「川越でこんなに星が見えるとは思わなかった」「解説を聞くと、星座が良く分かる」など、楽しく観察できたようです▶星が良く見えることと、大気の流れは密接に関係しているとか。「星を見る度に、大気をきれいに保つ大切さを思い出してもらえれば」と担当者▶帰り道、天頂近くで輝く昴。見える星の数が、子供のころに比べて少なくなったのかなと感じました。残したい風景と同様、星空も次の世代に残したいものの一つです。



ロウバイ

肌寒い午後、傾き始めた太陽の光を受けて輝く花を見つめました。植物の濃い緑色の葉や茶色い枝の中で、庭に彩りを添えるように咲く、透き通るような黄色い花。名前のとおり、花びらは、ロウでできているように見えます。近づくと、ほのかに梅に似た、さわやかな香りが漂います。短く切り詰めた枝には、つぼみがたくさん付いています。花の少ないこの時期、もうしばらく楽しめます。せてくれそうです。

